

令和6年（2024年）8月教育委員会定例会会議録

日 時 令和6年（2024年）8月27日（火） 午後1時30分～午後2時53分

会 場 柏崎市役所4階4－4会議室

出席者	教育長	近 藤 喜 祐
	委員（教育長職務代理者）	米 谷 杉 子
	委員	阿 部 健 志
	委員	梅 田 広 美
	委員	飯 塚 政 雄

説明のため出席した職員

教育部長	本 間 和 人
教育総務課長	田 辺 文 敏
学校教育課長 兼	
教育センター所長	矢 沢 欣 也
文化・生涯学習課長	窪 田 守
スポーツ振興課長 兼	
水球のまち推進室長	藤 巻 久 之
図書館長	徳 間 正
博物館長	西 巻 隆 博

説明及び職務のため出席した事務局職員

教育総務課課長代理	布 施 豊
-----------	-------

議 題

1 会議録署名委員の指名

2 教育長専決処理報告

（1）令和6（2024）年度一般会計補正予算（第7号）について

3 審議事項

（1）令和5（2023）年度柏崎市教育委員会点検・評価報告書について

（2）学区外就学許可について

4 報告事項

（1）かしわざきこども大学「エネルギーのまち、柏崎探求コース」の実施について

（2）第106回全国高等学校野球選手権大会パブリックビューイングを実施しました

（3）パリ2024オリンピックに柏崎ゆかりの選手・コーチが出場しました！

（4）ブルボンKZ男子がモンテネグロ合宿を実施

（5）「なつかし体験in別保」の実施について

（6）第三次柏崎市子ども読書活動推進計画の策定及び第二次計画の取組みと現状について

- (7) 「綾子舞」現地公開について
- (8) 共催・後援の事業について
- 5 その他
- (1) 9月定例会の日程について
- (2) その他

＜ 午後1時30分 開会 ＞

(近藤教育長)

審議事項の「(2) 学区外就学許可について」は、教育委員会会議規則第15条第1項ただし書の規定により非公開で審議することとしたい。併せて、審議の日程を「その他」終了後に変更したいが、よろしいか。また、配布資料は議事終了後に回収したい。

(全委員)

異議なし。

第1 会議録署名委員の指名

(近藤教育長)

会議録署名委員に、阿部委員、梅田委員を指名する。

第2 教育長専決処理報告

(近藤教育長)

教育長専決処理報告に入る。

(1) 令和6(2024)年度一般会計補正予算(第7号)についてを議題とする。

(教育総務課長)

教育委員会の各課で計上している「職員人件費」についてまとめて説明させていただく。

職員人件費の当初予算は11月頃に当時の所属職員をベースに翌年度分を見込んで要求する。一方、正式な人事異動は翌年の4月に決定する。今回の補正予算は、その人事異動に基づき、職員の給与や手当などの職員人件費を増額又は減額するものである。

(学校教育課長)

中学生の部活動地域移行に伴う刈羽村との負担金について、協議が完了したため歳入として計上した。負担金の内容としては生徒数割を負担していただき、これを人件費から算出した事務費に充てる。学校教育課として23万7千円、文化・生涯学習課の7千円は吹奏楽部に係るもの、スポーツ振興課の26万1千円はスポーツ関係に係るものである。

歳出、一般経費69万5千円は、学校教育課の正規職員1名が12月から産休・育休を取得する予定で、代替職員を任用するために増額措置するものである。

(スポーツ振興課)

駅前公園テニスコート整備事業は、屋外照明8基を入替工事するため8,000万円を増額措置するものである。

駅前公園テニスコート災害復旧事業は、令和6年能登半島地震により被害を受けたテニスコートを全面改修するため1億5,500万円を増額措置するものである。

(図書館長)

図書館業務専門員が産休・育休を取得するため、代替職員を任用するため増額措置するものである。

(博物館長)

柏崎市内遺跡発掘調査事業 4 万 7 千円、埋蔵文化財調査費 1 8 万 7 千円、県道関連遺跡調査業務 9 千円は、1 0 月 1 日からの最低賃金の引上げに伴い、各事業で雇用している非常勤職員の報酬等を増額措置するものである。

博物館管理運営費 1 5 0 万円は、博文館展示品の搬入室にある空調関連機器に不具合が生じ、修繕工事を行うため増額措置するものである。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(阿部委員)

駅前公園テニスコートについて、復旧・使用が出来る時期はいつか。使用が出来ない期間の支障はないか。

(スポーツ振興課長)

来年 7 月末を目途に工事を完了したいと思っている。すでに大会等で予約をいただいた団体等については、利用を変更していただいた。来年度については、今年の 1 2 月に利用調整会議があるが、万が一工事が延長することを想定して、大きな大会を入れずに調整していきたい。ただ、工事が予定どおり完了した場合は、速やかに利用を開始したい。

(近藤教育長)

他になれば承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

第 3 審議事項

(近藤教育長)

審議事項に入る。

(1) 令和 5 (2 0 2 3) 年度柏崎市教育委員会点検・評価報告書についてを議題とする。

(教育総務課長)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、令和 5 (2 0 2 3) 年度に執行した教育委員会の事務の点検及び評価を行うに当たり、教育に関し学識経験を有する方の知見の活用を図るため、別冊のとおり市の附属機関である教育委員会事務評価委員会に諮問したものである。

7 月 4 日、5 日に事務評価委員会を開催し、担当課が所管する事業の説明を行い、7 月 2 2 日に評価委員からの評価を受けた結果である。

総評は、「実施された事業は、おおむね期待した成果があるものと認める」との評価を得た。項目別の評価についても、いずれも「期待した成果があるものと認められる」との評価を得た。また、事業によっては更なる成果を期待するとの意見もあり、その点も評価とともに記載している。

評価の内訳は、「S が 1」「A が 7 7」「B が 0」「評価不能が 2」事業となっている。それぞれの評価の数は、事務評価委員会でも変更はなかった。本日の教育委員会での審議後

9月18日に市議会文教厚生常任委員協議会で報告する。その後は、市ホームページに掲載するほか、市役所や市民プラザ、ソフィアセンター、市内の小・中学校やコミセンなどにも報告書を配置し、市民の皆様に広く公表する。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(阿部委員)

参考までに聞かせてもらいたい。市長・副市長に報告したと思うが、どのような講評をいただいたか。

(教育総務課長)

市長・副市長に対しては、毎月行われる三役会議で報告した。また、同様な内容で、部長以上が出席する定例庁議でも報告した。特段、大きな意見はなかった。

(近藤教育長)

市長からは、業務内容によってではあるが、自己評価をもっと上げてよいと意見をいただいた。来年度に向けて検討していきたい。

(近藤教育長)

他になれば承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認。

第4 報告事項

(近藤教育長)

報告事項に入る。

※教育長及び各課（館）長が資料に沿って説明

- (1) かしわざきこども大学「エネルギーのまち、柏崎探求コース」の実施について
- (2) 第106回全国高等学校野球選手権大会パブリックビューイングを実施しました
- (3) パリ2024オリンピックに柏崎ゆかりの選手・コーチが出場しました！
- (4) ブルボンKZ男子がモンテネグロ合宿を実施
- (5) 「なつかし体験 in 別保」の実施について
- (6) 第三次柏崎市子ども読書活動推進計画の策定及び第二次計画の取組みと現状について
- (7) 「綾子舞」現地公開について
- (8) 共催・後援の事業について

(近藤教育長)

以上で報告事項を終わる。

第5 その他

- (1) 9月定例会の日程について 9月24日（火）午後3時開会

- (2) その他

(梅田委員)

7月30日開催したイングリッシュキャンプに私も関わらせてもらったが、ALTの指導を間近で拝見した。国際的な文化を交えながら、本当に素晴らしい指導だった。来年以降も継

続し、宿泊体験も検討していただければと思う。

(教育総務課長)

2つの統合準備委員会の進捗状況について報告したい。それぞれ4回ずつ開催をし、大きな動きがあった。

剣野小・鯨波小・米山小については、統合準備委員会の中での統合後の校名が決まった。「柏崎市立西小学校」となった。4つ校名候補があがり、結果、多数決による採決を実施。1回目の多数決で「剣野小」と「西小」が同数となり、2回目の決選投票により西小学校となった。

日吉小・中通小については、統合準備委員会の中で意見がまとまらず、調整は困難との考えから、決定を教育委員会へ一任となった。教育委員会としては、両校のPTA選出委員から保護者に対して新たな校名候補のアンケートを行ってもらい、提案いただいた校名候補と市及び教育委員会で考えた校名候補の中から11月頃を目途に決定したいと思う。

(近藤教育長)

議案説明員以外の職員の退席を求める。

(近藤教育長)

審議事項に入る。本審議は、非公開で行う。

(2) 学区外就学許可についてを議題とする。

<非公開審議>

< 午後2時53分 閉会 >

以上、相違ないことを確認する。

令和6年(2024年)9月24日

教育長 近 藤 喜 祐

委 員 阿 部 健 志

委 員 梅 田 広 美